

象 成

大宮北小学校だより
令和5年度 12月号 文責 校長 平野 宗

明治6年に本校の前身として開校された「象成学舎」の名にちなみ、学校だよりの題字を「象成」（しょうせい）としました。



各学年で実施した持久走記録会では、日頃の練習の成果を発揮し、最後まであきらめずに走る子どもたちの姿が見られました。また、一生懸命に応援し、お互いを大切にする思いやりの気持ちも高まりました。
インフルエンザの感染防止のために学級閉鎖を実施する際には、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきありがとうございます。今後とも、より一層の感染防止対策に努めてまいります。

★ 健康な生活意識を高める食育・健康教育の推進

本校では、子どもたちが健康で安全な生活習慣を身に付けられるように、学級担任と栄養教諭や養護助教諭の連携、学校と関係機関との連携を図りながら指導を行っています。

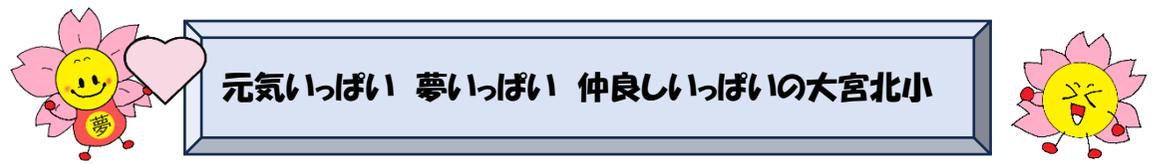


6年生では、家庭科の学習で栄養のバランスを確かめながら、1食分の献立を作成しました。
まず、給食の献立に使われている食材を3つの栄養の働きで分類し、栄養のバランスがとれていることを確かめました。
次に、主食、主菜、副菜の順に栄養の偏りがないように工夫して献立を考えました。

1年生では、「むし歯ゼロ学校巡回指導」を実施しました。参加された保護者からの質問に学校歯科医師から歯磨きや歯の矯正などについて丁寧に答えていただきました。
また、子どもたちには、口腔衛生士から、むし歯の原因になるものや正しい歯の磨き方など教えていただきました。



保健委員会では、子どもたちが「早寝・早起き・朝ごはん」の効果について調べました。
そして、保健室の先生からアンケート調査の結果を聞いて、みんなの生活の仕方を改善するための方法について話し合いました。



🌸 さまざまな体験から学ぶ校外学習

11～12月にかけて、校外で自然体験等の活動を行う校外学習を実施しました。
1年生は、宇都宮動物園で動物と触れ合いました。2年生は、栃木県子ども総合科学館で、科学体験をしました。6年生は、東京で国会や国立科学博物館を見学しました。



【1年 宇都宮動物園】



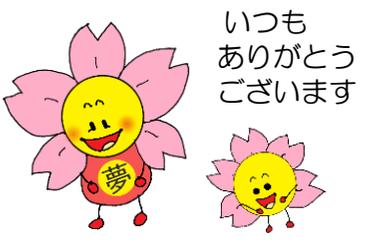
【2年 子ども総合科学館】



【6年 国会など】

🌸 ボランティアの支援による学習の充実

読み聞かせやミシンボランティアのほかにも、とちぎ未来アシストネットを活用したボランティアによる学習支援を行っています。
2年生では、かけ算九九の確認をお願いしました。4年生では、初めて彫刻刀を使うので安全確認をお願いしました。子どもたちはボランティアに見守られて自信と安心を高めています。



伝えたい想い
たくさん話そう

東陽中学校区の小中学校では、毎月14日を「トーヨーの日」として、家庭内のコミュニケーションをより深めていくための「家ぞく団らんの日」としています。

「地域とともにある学校」の推進

その1 みんなが笑顔になったPTA祭

久しぶりのPTA祭は、内容を一新して、子どもたち全員が多様な人々との触れ合いを楽しむ機会となりました。



【小枝で工作】



【スライムづくり実験】



【バザー（保護者向け）】



【PTA役員やボランティアによるイベントコーナー】

その2 大宮地区まつりへの協力



大宮公民館と連携して、地区まつりに吹奏楽部が出演しました。

各学年の図工や習字、裁縫などの作品を展示しました。

その3 おおみや幼児教育センターとの連携

おおみや幼児教育センターとは、教職員の相互交流や園児の学校見学等で連携を図っています。

園児のみなさんは、いろいろな教室を見たり、1年生の授業を参観したりすることができました。



ネットトラブルから子どもたちを守る！！

インターネットは、世界中の人々が手軽につながることができるとても便利なものです。子どもたちは、生活の中でスマートフォンやタブレット端末、ゲーム機器等でインターネットを使うことが当たり前のことになっています。

一方、小学生でもネット利用に関する問題やトラブルが発生しているため、学校と家庭が連携して、子どもたちに正しい使い方を理解させ、ルールやマナーを守って使う力を身に付けさせる必要があります。

5・6年生のネットトラブル防止講座



5・6年生を対象に、栃木市消費生活センターの講師によるネットトラブル防止講座を実施しました。

＜児童の感想＞

◇自分はすごくネットを使っているけれど、個人情報の流出やゲームでのトラブルが発生しないように気を付けたい。

◇ネットトラブルは、身近にあるとわかりました。困ったときは、親や先生にすぐに相談したいと思いました。

家庭でのルール作りと親の関わり方

東陽地区PTA連絡協議会の教育講演会では、ゲーム機やスマホの使用にあたってのルール作りや親の関わり方について、IT Support パソコン太郎株式会社の大房先生の講話がありました。講話では、実際に大房先生がお子さんとお話した20の約束について紹介されましたので、親の関わり方のポイントを紹介します。

- 機器は、親が子どもに「貸し出す」約束をして、管理責任を明確にする。
- パスワードやアカウントは親が管理し、使用の様子を確認する。
- うそや人を傷つけるための道具にさせない。
- 何かを書き込むときは、その言葉を直接相手に言えるか考えさせる。
- 個人情報や写真・動画は、絶対に公開させない。
- 問題が起きたり困ったりしたときは味方になる。
- ルールは、子どもの成長とともに何度も話し合っよりよくしていく。

学校と家庭の役割分担

学校では、ネットに関する正しい知識を理解させ、ネット社会でのマナーを身に付けるように学年に応じた指導を行います。

家庭では、保護者の責任のもと、家庭のルールを作って普段から見守ってください。困ったときには相談相手となり、必要な場合は関係機関にご相談ください。